

2023 年第 6 号

(2023.5.23)

コロナ禍で感じていた閉塞感は軽減され、旅行意向は 2020 年の調査開始以来、最高に。 海外旅行は若い世代で、国内旅行は全世代で旅行を予定・検討している人が増加。

JTB 総合研究所「新型コロナウイルス感染拡大による、暮らしや心の変化と旅行に関する意識調査（2023 年 3 月実施）」

株式会社 JTB 総合研究所（東京都品川区 代表取締役社長執行役員 風間 欣人）は、「新型コロナウイルス感染拡大による、暮らしや心の変化と旅行に関する意識調査（2023 年 3 月実施）」の調査結果をまとめました。

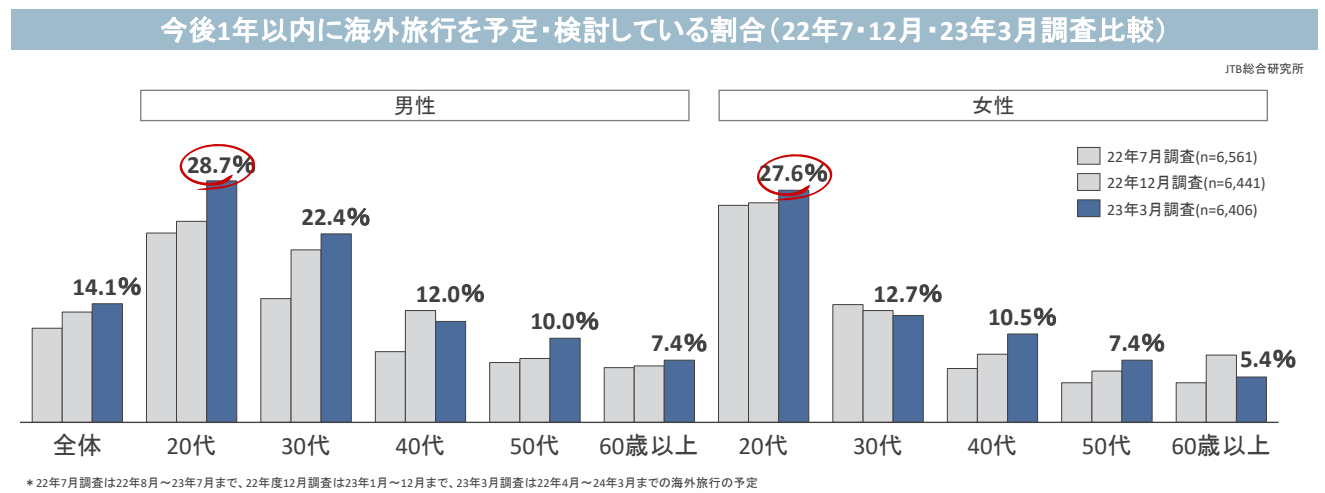
当社は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19／以下「新型コロナ」）の世界的流行が始まった 2020 年 2 月から定点で意識調査を実施し、感染拡大や緊急事態宣言発令などに揺れ動く人々の意識や行動、そして旅行意向について追ってきました。今回で 14 回目の調査となります。

* 詳しい調査結果はこちら（<http://www.tourism.jp/store/item/whitepapers/covid19-tourism-202305/>）

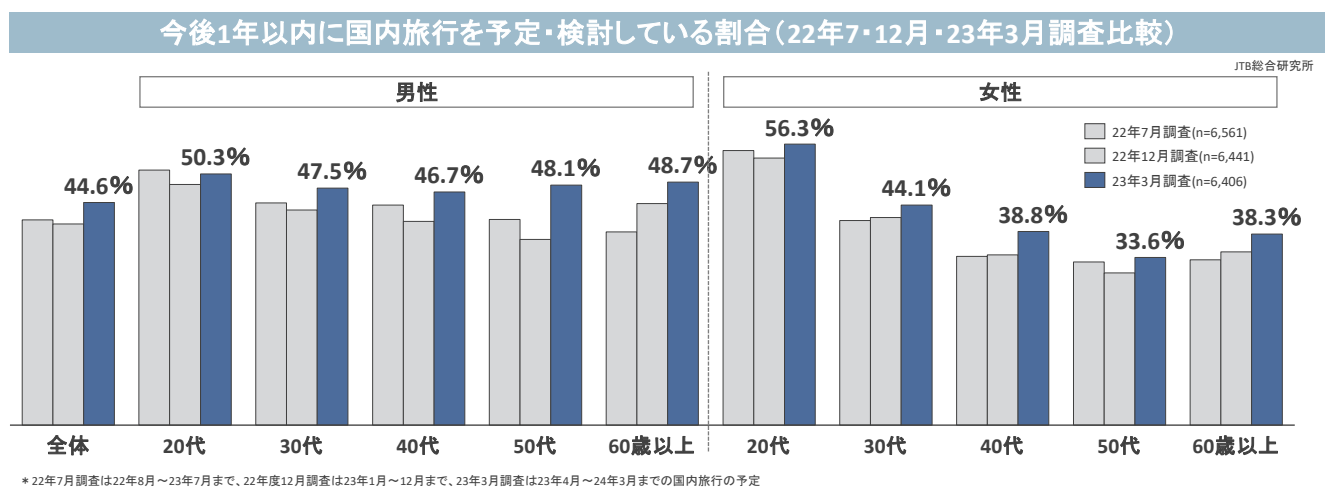
今回の調査からは、次のようなインサイトが得られました。

- 2020 年の調査開始以来、最も高い旅行意向。海外旅行は若い世代で、国内旅行は全世代で旅行を予定・検討している人が増加。海外旅行で求めるサービスは「旅行前に必要な手続きを簡単に済ませられるサービスやサポート」。
 - ・ 海外旅行
 - 全体では 14.1%が海外旅行に行く回答。最も高いのは 20 代男性(28.7%)、次いで 20 代女性(27.6%)、30 代男性(22.4%)。60 歳以上の男女は、海外旅行はまだ様子見
 - 海外旅行の際に求める旅行商品やサービスは「手ごろなプランや宿泊施設がとれれば」、「旅行前に必要な手続きを簡単に済ませられるサービスやサポート」
 - ・ 国内旅行
 - 44.6%が旅行に行く回答。全ての性年代別で前回調査（22 年 12 月）よりも上がる。これまで旅行意向があがらなかった 40・50 代でも上昇傾向となり、20 代は男女とも 50%超
 - ひとり旅が定着する一方、夫婦のみの割合が減少し、子ども連れや三世代の旅行など、多人数での家族旅行が増加
- コロナ禍で感じていた閉塞感は軽減され、開放的な気分。節約しつつも、我慢していたことは復活したい。
 - ・ 今後の旅行を増やす理由は「これまで我慢していた」、「後ろめたさを感じなくなった」
 - ・ 「多様な働き方が定着し、旅行へ行く時期を柔軟に選べるようになった（15.6%）」ことから、旅行の時期が分散する可能性も
- コロナ禍で変わったことは「健康に気をつかうようになった」、「国内旅行への意欲が強まった」、「人と会うこと、人付き合いを億劫に感じるようになった」

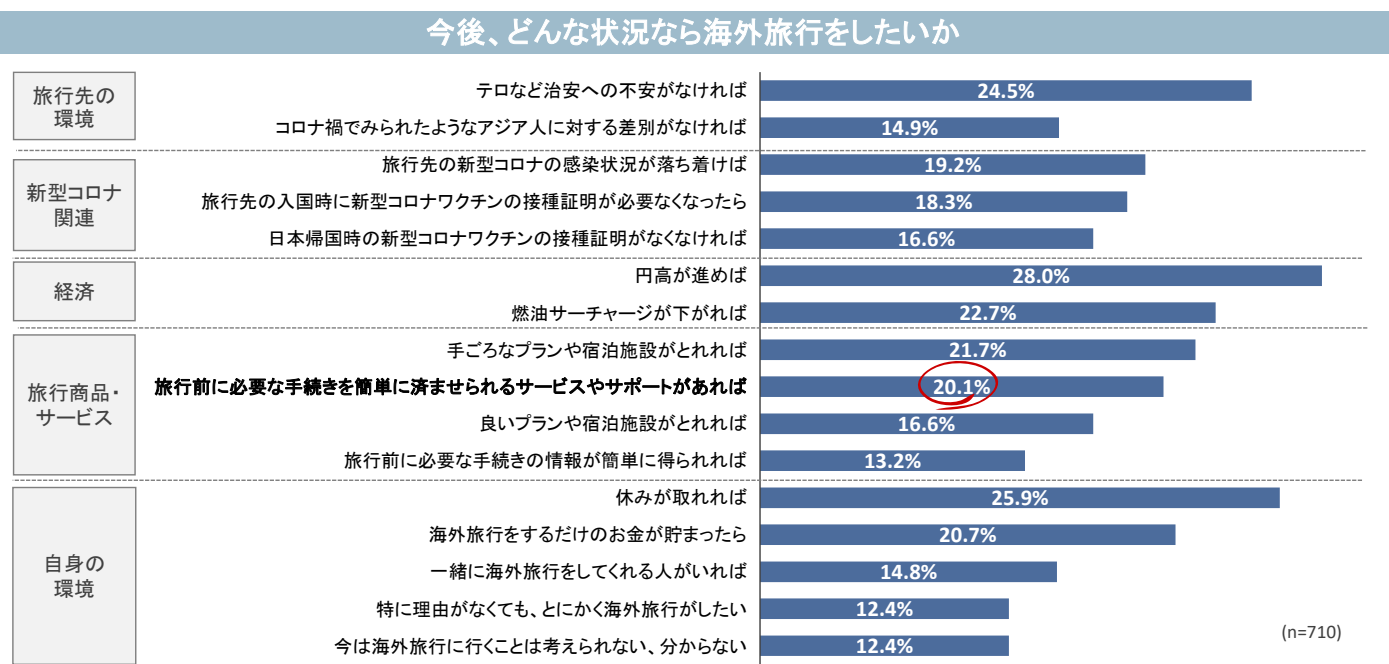
(図 1) 今後 1 年以内に海外旅行を予定・検討している割合 (22 年 7・12 月、23 年 3 月調査比較) (単数回答)



(図 2) 今後 1 年以内に国内旅行を予定・検討している割合 (22 年 7・12 月、23 年 3 月調査比較) (単数回答)



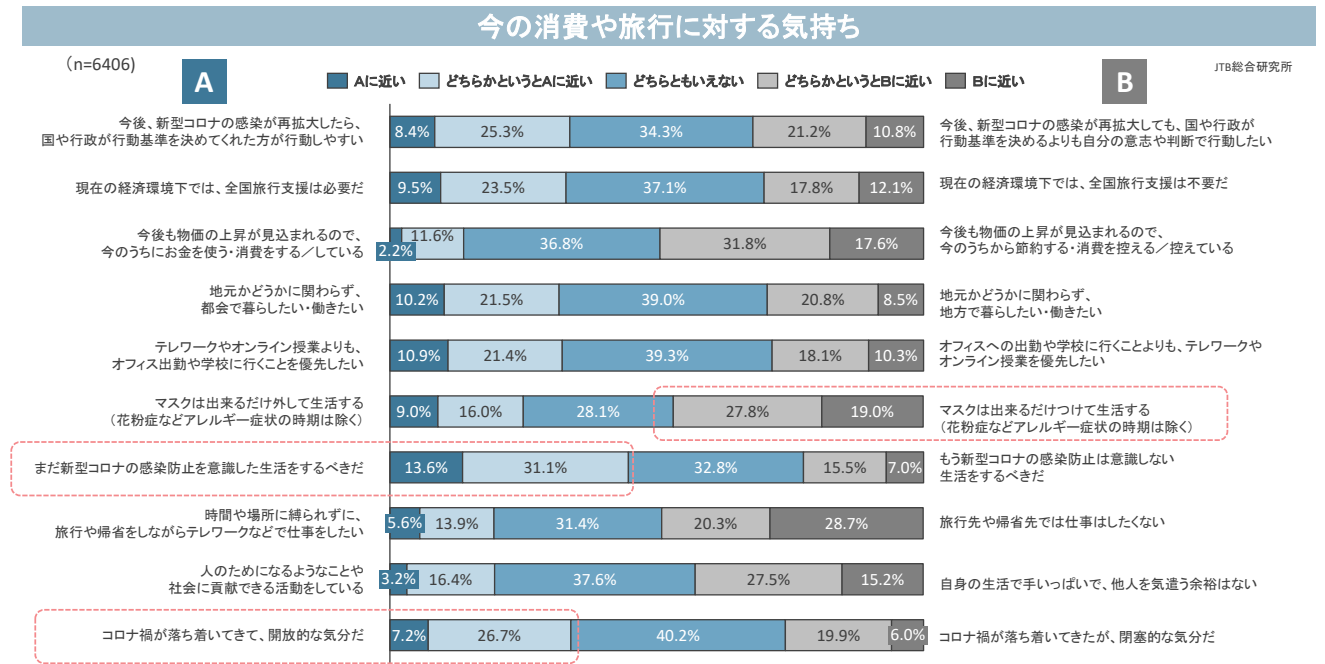
(図 3) 今後、どんな状況なら海外旅行をしたいか (複数回答)



* 回答者は24年3月までに国内旅行を予定・検討している人(もともと海外旅行をしない人を除く)

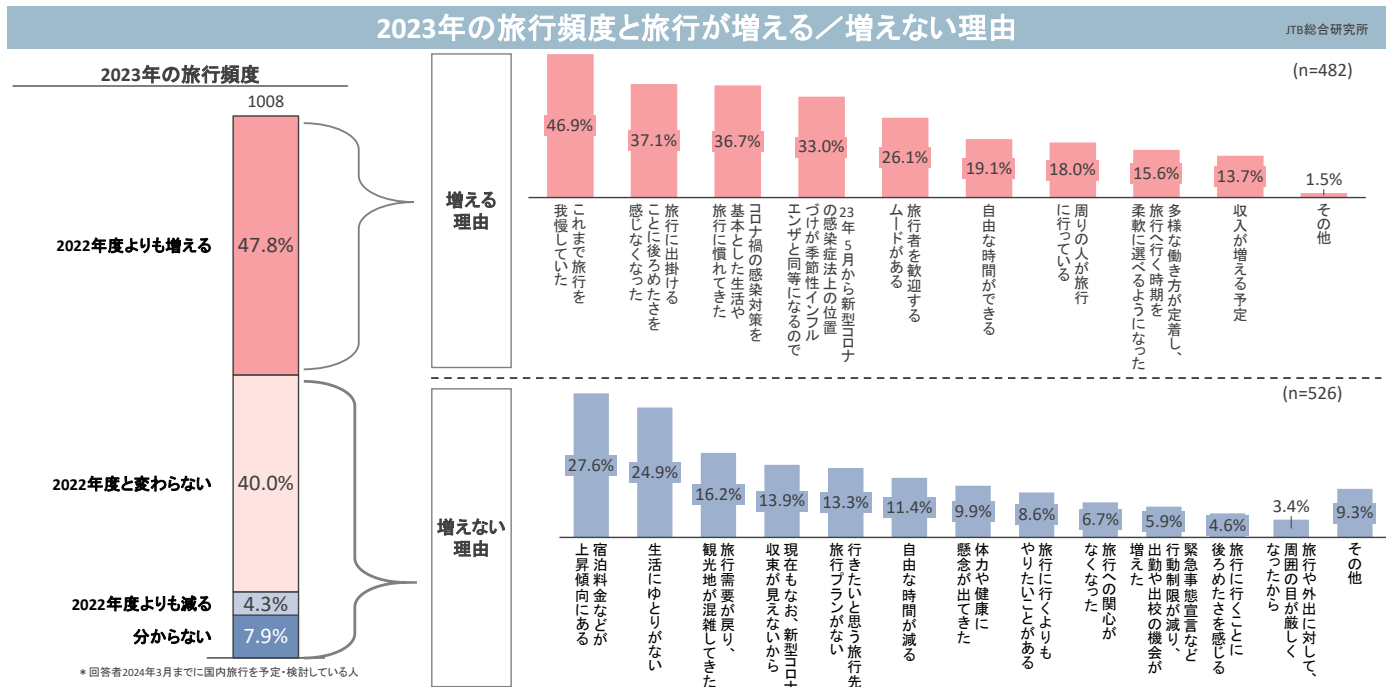
(図4) 今の消費や旅行に対する気持ち

(単数回答 (マトリクス形式))



(図5) 2023年度の旅行頻度と旅行が増える／増えない理由

(単数回答／複数回答)



【調査概要】

調査方法：インターネット調査会社が保有しているモニター対して、インターネットでの予備調査を実施、

対象者を抽出後に本調査を実施

対象者：予備調査…全国に居住する 20歳以上の男女 6,406人

本調査…2023年度(2023年4月～2024年3月まで)に国内旅行を予定・検討している 1,008人

調査時期：2023年3月24日～29日

【お問い合わせ】

株式会社 JTB 総合研究所 経営企画部 広報担当：中尾、早野

メールアドレス：pr@tourism.jp